

# 1 横浜市の概況と保育ニーズの状況

# 1 横浜市の概況と保育ニーズの状況

- 横浜市は、政令指定都市で、日本最大の基礎自治体
- 少子高齢化が着実に進んでおり、  
就学前児童数は2004年をピークにゆるやかな減少傾向

→ 1歳児の新規申請者数は前年度に比べ増加



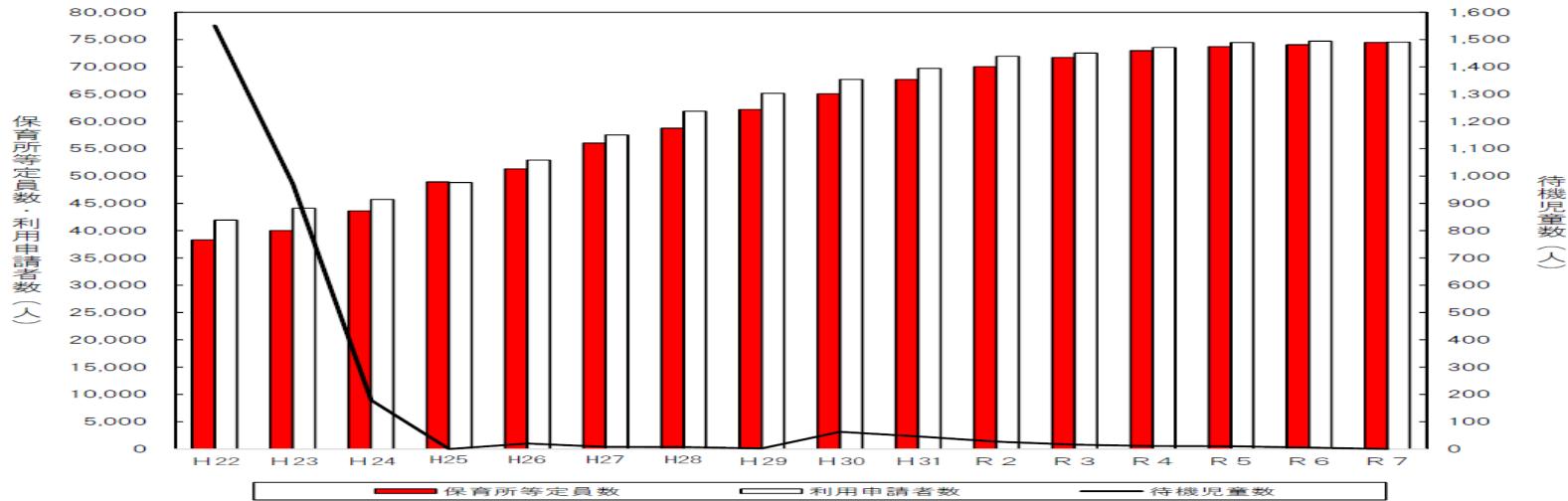
|             |           |                 |                                          |
|-------------|-----------|-----------------|------------------------------------------|
| 面 積         | 438.23    | km <sup>2</sup> | 【参考】<br>横浜市の主な指標                         |
| 人 口         | 3,769,150 | 人               | 【参考】<br>横浜市人口ニュースNo.1184<br>(令和7年4月1日現在) |
| 世 帯 数       | 1,827,978 | 世帯              |                                          |
| 世帯あたり人数     | 2.06      | 人               |                                          |
| 0~5歳<br>児童数 | 144,055   | 人               | 【参考】<br>年齢別人口(令和7年3月末日)                  |
| 合計特殊<br>出生率 | 1.16      | 人               | 【参考】<br>横浜市合計特殊出生率の推移                    |

# 1 横浜市の概況と保育ニーズの状況

- 1・2歳児の利用申請者数が伸長しているが、1・2歳児の受入枠確保などにより、令和7年度は12年ぶりに待機児童ゼロを達成し、保留児童も過去最少となっている。

「待機児童ゼロの継続」のため、受入枠が不足する地域における受け皿の確保は引き続き必要

【待機児童数等の推移】 資料：「令和7年4月1日現在の保育所等利用待機児童数について」より抜粋



# 1 横浜市の概況と保育ニーズの状況

- 0歳児は定員数が申請者数を上回り、比較的余裕がある。
- 1・2歳児は申請者数に対し、定員数が不足している。  
また、保留児童数は1・2歳児が全体の約7割を占めている。

【利用申請者数と保育所等定員数の比較】

